



阿賀野市立京ヶ瀬中学校

～ <http://kyogase-jhs.agano.ed.jp/> ～

京ヶ瀬中学校

〒959-2123

阿賀野市姥ヶ橋 739

TEL0250-67-2004

2022-13号

令和4年2月24日発行

卒業おめでとうございます

校長 三 膳 章

まだまだ、寒暖差の激しい日々が続く中ですが、残雪のある五頭の山々が青空へと輝く姿を見ながら、春の訪れを感じています。これから、卒業式や公立高校入試、そして、年度末の締めくくりの時期を迎えます。今まで以上に、お互い体調管理に気を付けて生活しましょう。

私自身が大切にしている言葉を紹介させていただきます。私は、体育大学を卒業後、新潟市内の私立高校で2年間、保健体育科の非常勤講師をさせていただきました。下記はその私立高校初代校長太田俊雄先生の言葉です。

35年間の中学校保健体育科教師としての基礎・基盤となった講師時代の2年間でした。だからこそ、大切にしてきた言葉の一つで

はきだめに えんど豆咲き 泥沼から 蓮の花が育つ
人皆に 美しい種子あり 明日 何が咲くか

〔太田俊雄「明日何が咲くか」より〕

す。今まで、3年生の学級担任や学年主任をさせていただいた時なども含め、特に卒業生への贈る言葉としてきました。京ヶ瀬中学校の生徒の皆さん、これからも、それぞれの場で、それぞれの美しい花を咲かせていきましょう。

さて、令和3年度の学校生活も残りわずかとなりました。3年生はまもなく卒業です。特に、この一年間、3年生は最高学年としてリーダーシップを発揮し、学習に諸活動にと積極的に取り組んでくれました。皆さんの努力と協力に対し、改めて、賞賛と拍手を送りたい気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。そして、卒業おめでとうございます。

また、2・1年生がこの良き伝統を受け継ぎ、さらなる高みを目指し、素晴らしいものに発展させてくれるものと確信しています。そして、2・1年生の一人一人が、「時間を守る」「あいさつ・返事をする」「整理・整頓をする」ことで、全体のムードを高め、学級・学年のレベルをさらに高めていってほしいと願っています。

この学校だより13号が、このたび卒業する3年生、そのご家族への最後の学校だよりとなります。今までお読みいただき誠にありがとうございました。



1年間の振り返り [パート I]

